

平成17年6月

試験研究業務月報



4頭とも良く揃った検定牛

課題名 種雄候補牛「菊照丸」現場後代検定の開始

要 旨

種雄牛を造成するためには、産子の肥育成績をもとに肉量・肉質の評価をする必要があります。

そこで、今回、特に肉質が期待できる「菊照丸」の検定を開始し、受け継がれた能力が最大限に発揮できるよう飼養管理に万全を期して、来年12月に肉質等の調査を行う予定です。

京都府畜産技術センター